

Passer un après-midi

9





豆はこのゴムパッキンのついた瓶に保存している。
それが正しいのかどうかは知らないけれど、
この瓶が好きなんだから、仕方が無い。



コーヒーミルに一杯分の豆を投入。

Kalitaのダイヤミル

小学生の時からこれを使っている。
職人さんの手作りだそうで、年間製造台数も限られている。
しかも、kalitaのホームページには載ってない。

右のハンドルを回して、ごりごりごりごりと挽いてやる。
下部の引き出しを開けた時のコーヒーの香りが
たまらない。



豆はUnirさんでかう Specialty Cofee

仕入れ量が限られるので、次に行った時には
大抵、前に買った豆は売り切れていて、
同じようなテイストのものを選んでもらって、
それを買って帰る。



本当はフレンチプレスがいいらしいんだけど、
ドリップするという行為自体が止められないので。

フレンチプレスの方が、コーヒーオイルがフィルターに
吸われなくていい、と聞いたんだけど。



お湯を沸かす。
あー、ちょっと磨いてあげないとね。ごめんね。



フィルターはペーパーではなく、ネルでもなく。
コットン。

ペーパーフィルターは使い捨てだし、ネルは思いっきり油分を吸ってしまう。
この薄いコットンペーパーのフィルターは再利用出来て、
かつ、あまり油吸わない、、、と思ってるだけ。

コーヒーなんて自己満足で良い。



コーヒーを淹れている時の香りは
挽きたての香りとは少し違う。

香水で言うと、挽きたてはトップノート。
目覚ましのつんつんした香り。

いまは二煎目、ミドルノート。
ふっくらとした落ち着いた香りが漂って来る。

フィルターがドリッパーの穴を塞いで、
ゆっくりと落ちているところ。



良い色に入りました。



Mulin（近くのパン屋さん）のクルミ入りパンと発酵バター
お皿は随分前にquatre saisonsで買ったものだけどもう置いていない。

僕にとって、クルミ入りパンはパンの女王様。
ちなみに、王女さまはメサベルテのクリームコルネ。
さくさくの塩気の強いパイ生地に薄甘のクリーム。
ツンデレ感が何とも言えない。

ダークチェリーのデニッシュは愛人で、
アップルリングは侍女、
クロワッサンは町娘、、、
まあ、これぐらいにしておきましょう。



おまけ

昨晚、帰りに買った

dominique saibronのパン・オルヴァン ノア・レザン

酸味がしっかりとしていて、あまり甘くない。

噛んでも噛んでも、甘くない。

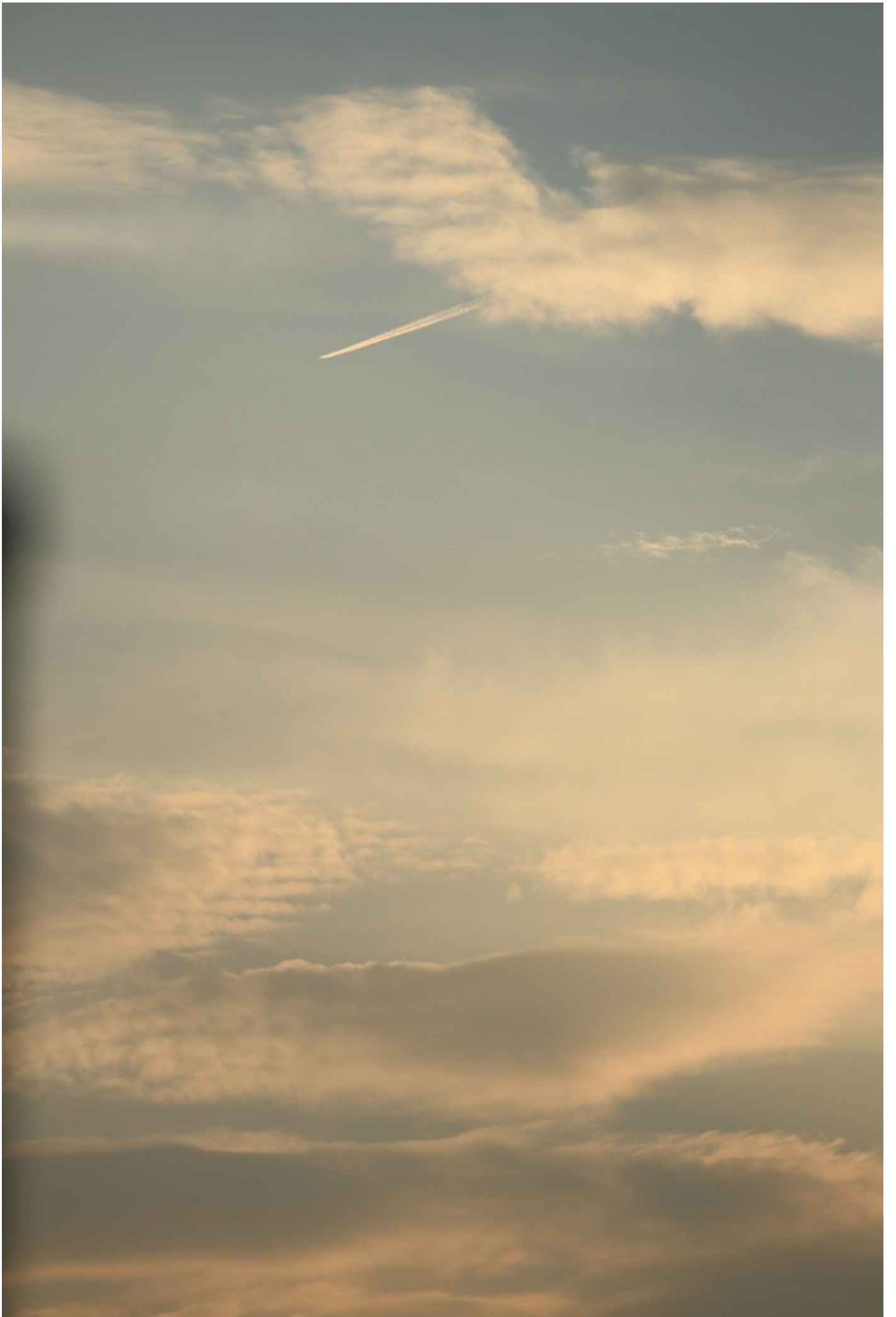
こっちは普通の有塩バター。



久しぶりの青空
でも、雲多し。



侵入者発見！





冬瓜と厚揚げのたいたん

夏場が旬なのに冬瓜、というには訳があるらしいんだけど、何だったかなあ。

このごろ、モチリ厚揚げというのをよくみかけるので、それと一緒に炊くことにしました。

スープは、鶏ガラスープとお酒、みりん、昆布茶。

最後に片栗粉でとろみをつけます。



ニンジンがないと、色目がたりない。

ぶたのひき肉
鶏でも大丈夫。

冬瓜は口に入りやすい大きさに切る

時間に余裕があれば、炊いた後に一度火を止めてさまして、食べる前にもう一度あたためるのがおススメ。

冬瓜のスライス

スライスして、軽く塩をしておいただけ。



いさぎよし。

甘酢（すし酢）をあわせてもいいかも。



あまり見かけないと思うオクラ料理っ

と小さいつも、
これはゆでてごまをふってあるだけ
で、ございます。



白みそとみりんとマヨネーズを合えた
ドレッシング、、、とでも言うのだろうか。

白みそをみりんで溶いて、マヨネーズと
合わせてあります。

当然味は濃いので、つけすぎないように。

あと、すりごまとかね、試してみたいな。



Monochroque	http://p.booklog.jp/book/89380
passer un après-midi 8 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/88976
passer un après-midi 7 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/88761
空と菖蒲と、蓮と	http://p.booklog.jp/book/88600
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3	http://p.booklog.jp/book/88419
空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2	http://p.booklog.jp/book/88206
Travelogue _ ep.03 近つ淡海	http://p.booklog.jp/book/87975
passer un après-midi 6 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/87771
Photo 「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」	http://p.booklog.jp/book/87552
「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/87350
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」	http://p.booklog.jp/book/87057
Photo 「花水硝」	http://p.booklog.jp/book/86821
「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86636
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」	http://p.booklog.jp/book/86313
「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/86112
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」	http://p.booklog.jp/book/85799
「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/85513
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」	http://p.booklog.jp/book/85209
「passer un après-midi 午後の過ごし方」	http://p.booklog.jp/book/84911
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」	http://p.booklog.jp/book/85209
「Travelogue ep.02 桜巡り」	http://p.booklog.jp/book/84667
「黄金の麦畑」	
1.Largo	http://p.booklog.jp/book/58662
2.Allegro molto	http://p.booklog.jp/book/83865
3.Adajo (連載中)	
「黄昏の王国」	
イーリアス編	http://p.booklog.jp/book/49612
アリシア編	http://p.booklog.jp/book/51254
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」	http://p.booklog.jp/book/84165
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」	http://p.booklog.jp/book/83952

「Travelogue ep.01」 <http://p.booklog.jp/book/83694>
Photo 「Hina」 <http://p.booklog.jp/book/83499>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」 <http://p.booklog.jp/book/82880>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」 <http://p.booklog.jp/book/82643>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」 <http://p.booklog.jp/book/82160>
Photo 「からくれないに ni」 <http://p.booklog.jp/book/81713>
Photo 「bleu, jaune, vermillion」 <http://p.booklog.jp/book/81111>
Photo 「H.45」 <http://p.booklog.jp/book/80229>
Photo 「Fly me to Paris I ～XIV」
Photo 「祇王 こけのころも」 <http://p.booklog.jp/book/74864>
Photo 「空と雨と6月と」 <http://p.booklog.jp/book/74060>

小説

「ネガティブズ2」
「ネガティブズ」 <http://p.booklog.jp/book/73051>
Photo 「空と僕と自転車とni」 <http://p.booklog.jp/book/72996>
Photo 「空と僕と自転車と」 <http://p.booklog.jp/book/72092>
Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」 <http://p.booklog.jp/book/71344>
Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」 <http://p.booklog.jp/book/70700>
Photo 「空と雲と、ときどき春の野に行く」 <http://p.booklog.jp/book/70137>
Photo 「空と月と、夜桜デート」 <http://p.booklog.jp/book/69415>
Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」 <http://p.booklog.jp/book/68722>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.booklog.jp/book/65536>
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>
Photo 「空と木とたまに月」 <http://p.booklog.jp/book/62540>
Photo 「からくれないに」 <http://p.booklog.jp/book/61473>
Photo 「空と雲と、ときどき月」 <http://p.booklog.jp/book/36294>
Photo 「夢みる桜」 <http://p.booklog.jp/book/45286>

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/31906>
「僕と彼女の選択の事由（わけ）」 <http://p.booklog.jp/book/35498>
「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」 <http://p.booklog.jp/book/36101>

「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」	http://p.booklog.jp/book/36617
「僕と彼女と複雑な関係者たち」	http://p.booklog.jp/book/37238
「僕と彼女と単純な関係式」	http://p.booklog.jp/book/37731
「僕と彼女と校庭で」	http://p.booklog.jp/book/38409
「僕と彼女と校庭で 夏」	http://p.booklog.jp/book/38977
「僕と彼女のエリア」	http://p.booklog.jp/book/46524
「僕と彼女のインベンション」 (次回)	
— その他 —	
傘がない	http://p.booklog.jp/book/69798
夕暮れの赤ちょうちん	http://p.booklog.jp/book/42024
いもうと	http://p.booklog.jp/book/40794
サマータイム・ブルース	http://p.booklog.jp/book/34054
危険なドライビングマジック	http://p.booklog.jp/book/33630
デフラグメント	http://p.booklog.jp/book/33116
●update	
インフルエンス あのころの僕たち	http://p.booklog.jp/book/32752
花舞い、名残り雪	http://p.booklog.jp/book/32187
詞画集「ただ憧憬だけを」	http://p.booklog.jp/book/34472
画集 「彼と彼女の表紙画集」	http://p.booklog.jp/book/39345